

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書			
2025年 6月 30日			
札幌市長			
秋元 克広 殿			
提出者			
住 所 札幌市東区北19条東1丁目1番1号			
氏 名 株式会社 中山組			
代表取締役社長 中山 茂			
(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)			
電話番号 011-741-7111			
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 10 項の規定に基づき、令和 4 年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。			
事業場の名称	株式会社 中山組 札幌本社 札幌市内の作業所		
事業場の所在地	札幌市東区北19条東1丁目1番1号 札幌市内		
事業の種類	建設業 総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	7,291.500 t	全処理委託量	7,291.500 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.000 t	優良認定処理業者への処理委託量	3,636.500 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.000 t	再生利用業者への処理委託量	6,996.500 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.000 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.000 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.000 t
※事務処理欄			

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：別紙の通り)

不要物等発生量

有 価 物 量

排 出 量

①

②

自ら直接
再生利用した量

③

自ら直接埋立処分又は
海洋投入処分した量

④

自ら中間処理
した量

⑤

④のうち熱回収
を行った量

⑥

自ら中間処理した
後の残さ量

⑦

自ら中間処理により
減量した量

⑧

自ら中間処理した後
再生利用した量

⑨

自ら中間処理した後
自ら埋立処分又は
海洋投入処分した量

⑩

直接及び自ら中間処理
した後の処理委託量

⑪

⑩のうち優良認定処理
業者への処理委託量

⑫

⑩のうち再生利用業者
への処理委託量

⑬

⑩のうち熱回収認定
業者への処理委託量

⑭

⑩のうち熱回収認定業
者以外の熱回収を行う
業者への処理委託量

項 目	実績値
①排出量	
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分 を行った量	
⑩全処理委託量	
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う 業者への処理委託量	

別紙

対象地域(札幌市)令和7年6月30日 報告分

【令和6年度 目標】 対象期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日

	単位	建設 汚泥	廃油	廃プラス チック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	鋳さい	ガラス・陶 磁器くず	廃石膏 ボード	混合 廃棄物 (安定型)	混合 廃棄物 (管理型)	がれき類	その他	水銀使用 廃棄物	石綿含有 廃棄物	合計
排出量	t	200.000	20.000	280.000	100.000	250.000	20.000	150.000	0.000	30.000	90.000	40.000	100.000	6,000.000	1.000	0.500	10.000	7,291.500
自ら再生利用を行 った産業廃棄物の 量	t	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自ら熱回収を行っ た産業廃棄物の量	t	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自ら中間処理によ り減量した廃棄物 の量	t	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行 った産業廃棄物 の量	t	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
優良認定処理業 者への処理委託 量	t	20.000	10.000	200.000	60.000	100.000	5.000	70.000	0.000	20.000	70.000	30.000	50.000	3,000.000	1.000	0.500	0.000	3,636.500
再生利用者へ の処分委託量	t	150.000	10.000	250.000	90.000	250.000	15.000	150.000	0.000	0.000	80.000	0.000	0.000	6,000.000	1.000	0.500	0.000	6,996.500
認定熱回収業者 への委託処理量	t	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
認定熱回収業者 以外の熱回収を行 う業者への処理委 託量	t	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
全委託処理量	t	200.000	20.000	280.000	100.000	250.000	20.000	150.000	0.000	30.000	90.000	40.000	100.000	6,000.000	1.000	0.500	10.000	7,291.500

【令和6年度 実績】 対象期間 令和6年4月1日から令和7年3月31日

	単位	建設 汚泥	廃油	廃プラス チック	紙くず	木くず	繊維くず	金属くず	鋳さい	ガラス・陶 磁器くず	廃石膏 ボード	混合 廃棄物 (安定型)	混合 廃棄物 (管理型)	がれき類	その他	水銀使用 廃棄物	石綿含有 廃棄物	合計
排出量	t	26.000	6.750	174.385	78.580	254.245	0.000	75.704	0.000	22.601	66.180	3.410	62.816	2,021.590	0.722	0.000	1.400	2,794.383
自ら再生利用を行 った産業廃棄物の 量	t	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自ら熱回収を行っ た産業廃棄物の量	t	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自ら中間処理によ り減量した廃棄物 の量	t	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行 った産業廃棄物 の量	t	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
優良認定処理業 者への処理委託 量	t	26.000	4.950	7.340	1.650	3.575	0.000	6.887	0.000	0.801	0.000	0.030	3.988	787.622	0.722	0.000	0.000	843.565
再生利用者へ の処分委託量	t	26.000	4.950	169.715	78.580	254.245	0.000	75.704	0.000	0.800	56.880	0.000	0.000	2,015.160	0.722	0.000	0.000	2,682.756
認定熱回収業者 への委託処理量	t	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
認定熱回収業者 以外の熱回収を行 う業者への処理委 託量	t	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
全委託処理量	t	26.000	6.750	174.385	78.580	254.245	0.000	75.704	0.000	22.601	66.180	3.410	62.816	2,021.590	0.722	0.000	1.400	2,794.383

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。